



令和2年9月
志比田こども園

9月の園だより

「残暑」という言葉通り、まだまだ夏の暑さが残る毎日。子ども達は汗を拭きながら、元気に遊んでいます。

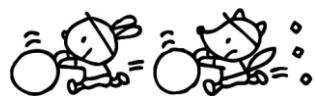
今月はいよいよ運動会。今年は新型コロナウイルスの影響で、練習も思うように出来ませんでしたが、その中でも子ども達は全身を動かして表現する楽しさや一人ひとりの力を出し合いながら、頑張ること、友達と協力する大切さを集団の中で学んでいるようです。当日は、子ども達の成長ぶりをご覧いただき、その勇姿に沢山のエールをお送り下さい。



今月の行事予定



5日(土)	運動会	19日(土)	避難訓練
29日(火)	誕生会		
3・10・17・24日(木)		体操教室(すみれ・さくら・ひまわり)	
2・9・16・23日(水)		音楽教室(すみれ・さくら・ひまわり)	
7・14・28日(月)		英語教室(ひまわり)	



お知らせ・お願い



- ◆ 令和2年度 **第50回 運動会**は**9月5日(土)**です。
(雨天決行となります。詳しくは後日プリントを配布します。)
- ◆ 運動会の練習がありますので、**9時までの登園**のご協力をお願いします。
- ◆ 動きやすい服装、靴での登園をしましょう。
(**サンダル・スカート・ワンピースは危険**です。)
- ◆ **早寝早起き**に心掛け、**朝ご飯**をしっかり食べて登園しましょう。
- ◆ **体操スポンのゴム、ゼッケンの確認**をお願い致します。



マイナスに見える問題行動の 背後にある「発達の芽」



大人から見ると気にかかる子どもの癖や行為は、実は「今どうしていいかわからなくて困っているの…」と迷い、悩んでいる姿なのかもしれません。

この葛藤こそ、発達の原動力、発達のときどきに表す当たり前の姿、次なる発達に向けての助走だと考えられないでしょうか。

人はみな、思いどおりにならないマイナス要素(問題)があればこそ、「こうありたい願い」に向かってがんばる自分に変わるのです。

ところがすぐにはなかなかコントロールできず悩み迷うのが人間です。その悩みに向き合う時間が必要です。だからこそ大人は「今困っているんだね、何を困っているのかな?」と悩みを理解し共感しようとする事で、子どもの内面(心の理由)に対する関心が生まれます。

大事なことは、子どもたちの葛藤を奪い取るのではなく、困っているときこそ、自分を支えてくれる人がいると感じ、その人を心の支えに乗り越えられるようになることではないでしょうか。



参考資料「0歳児から5歳児
行動の意味とその対応」

子どもの行動をとらえるときに大事な3つのこと

1 子どもの一面ではなく、**両面**をみる



「落ち着きがない」は、裏を返せば「好奇心が旺盛」ということ。
ちよつと気になる一面をとらえるのではなく、行動の裏面も考えましょう。

2 **目に見える姿**だけが真実ではない



子どもの行動には必ず理由があります。その行為の意味、心の理由を探しましょう。ただ行動をやめさせるだけでは逆効果です。

3 子どもだけの**問題**とせず、**まわりとのかかわり**を考える



子どもの問題行動は、まわりの大人とのかかわりで起こされていることが多いです。子育ては子どもと一緒に育ち合うことだとということをお忘れずに。